

臨床のきれはし

SHEET27

浅田 英輔

DISKILL YOUR VERBOSITY

今の世の中は忙しい。

情報はたくさん入ってくる。

要らないものも多いけど、中にはちゃんと取り入れておかなきゃダメなものもある。

仕事の中ではなおさらで、「捨てていいもの」「さらっと目を通すもの」「要点を把握しておくべきもの」「とっておくもの」「ちゃんと読んで理解する必要があるもの」など、頼んでいないのにいろいろなモノが舞い込んでくる。

さらにそれを「みておけばいいもの」「すぐやるもの」「時間をかけてやるもの」「後回しだけどちゃんとやるもの」「催促されたらやればいいもの」「人に回すもの」などなどに分類する必要がある。

これは自分だけでなく、みんなのところで起きている。県庁にいと、担当業務によっては毎日すごい数のメールが来る。市町村に照会すると、メールが 40 通くる。当たり前だけど。調べてみたら、北海道 179 市町村はまあ特殊だよ。長野県が 77！埼玉県が 63！なんで埼玉小さいのにそんなにあるの。大阪府が 43！あんなにちっちゃいのに！青森県 40 市町村は 15 位でした。富山県 15 市町村が一番少ない。いいなあ。

紙のお知らせもくる。厚労省からは難解な長文が送られてくる。それを次々とどうすべきかによって振り分けて、「処理」していかなければならない。事務処理と

は、情報の理解と振り分け、その処理のことを指すといえるだろう。

中には、長文で仰々しい文章だけど、よく読むと 3 行で済むじゃん！というものもある。また、「これに該当する人は A、こちに該当する人は B、そうでない人は C をお読みください」ということを理解するのに数ページ読まないといけないものもある。そういう余計なものにける時間がとても無駄だなあと思う。何かしろという種類の文書は全部箇条書きにしてほしい。

ということは。自分から発信する情報の重要度や急ぎ具合などを明確にし、必要事項を端的に表したほうが絶対にいいということだ(世の中に「絶対にいい」なんてことは、絶対にない)。なのに、言葉を減らすことが大事にされていない気がしている。前に敬語のことを書いたが、冗長な敬語はノイズにしかならない。伝えたいことを伝わりづらくする作用にしかならない。相手を敬うのは大事なことだが、冗長にするということは、相手に「文章を読んで要点をつかめ。こっちでまとめる気はない」と言っているようなものである。結構無礼。慇懃無礼。

次の研修会の内容について、生成系 AI に「次の項目を冗長で慇懃無礼にして」とお願いしてみた。

○ 必要事項

・研修会名：令和 6 年度研修会

・日時：令和 6 年 1 2 月 1 5 日（日） 1 3 時から 1 6 時

・会場：県民福祉プラザ 3 階

・内容：加害者支援、被害者支援について

・対象：当会会員

・参加費：3,000 円

・申込締切：令和 6 年 1 1 月 3 0 日（土）

○ 冗長にした文章

拝啓、皆様におかれましては、日々のご多忙の中、ますますご清栄のことと心より喜び申し上げます。このたび、私どもが主催させていただきます「令和 6 年度研修会」と称する極めて貴重かつ意義深い研修の機会を設けさせていただく運びとなりましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、研修会の開催日時に関しましては、令和 6 年 1 2 月 1 5 日、日曜日の午後 1 時から午後 4 時までの間に、何卒ご参加賜りますようお願い申し上げます。この貴重な時間におかれましては、皆様にとっても多くの学びと気づきを得られる絶好の機会となることを、確信いたしておりますので、ぜひともご予定の調整を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

会場につきましては、県民福祉プラザの 3 階にて開催させていただく予定でございます。この会場は、皆様にとって非常にアクセスしやすく、また快適にご参加いただける環境が整っておりますので、何卒ご安心賜りますようお願い申し上げます。

研修の内容に関しましては、加害者支援及び被害者支援に関する極めて重要かつ深遠なテーマについて、専門家をお招きし、詳細にわたりお話をさせていただく予定でございます。これらのテーマは、現代社会において極めて重要な意義を持つものであり、皆

様にとっても多くの学びが得られるものと信じて疑いません。

なお、対象といたしましては、当会の会員の皆様を想定させていただいておりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。また、参加費用につきましては、誠に恐縮ではございますが、3,000 円をお願い申し上げます。この費用は、研修会の運営に充てさせていただく所存でございます。

最後に、申込締切に関しましては、令和 6 年 1 1 月 3 0 日（土）までとさせていただきますので、何卒お早めにお申し込みいただけますようお願い申し上げます。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

敬具

大量に流れてくる情報の海の中で必要なのは上の必要事項である。

研修会のお知らせで下の冗長にした文章がくるといやである。必要な情報がどこにあるか検索しながら読まないでダメだし、再度確認するときもまた読まないといけない。こういう文章でなければ「無礼である」なんていう人がいるのだろうか？この文章のほうが無礼である。「念の為丁寧にする」というのは、誰のなんのためにやっているのだろうか。発信者も受信者も、誰も幸せになっていないのである。

上の例は極端といえば極端だが、例えばこの文章を簡潔にするとしたらどうするだろう？

このたび、私どもが主催させていただきます「令和 6 年度研修会」と称する極めて貴重かつ意義深い研修の機会を設けさせていただく運びとなりましたこと、心より感謝申し上げます。

- ・主催させていただきます
⇒主催者が主催することを、誰に「させていただく」んだよ！
- ・極めて貴重かつ意義深い研修
⇒そうじゃない研修は開催しないでくださいね。
- ・設けさせていただく
⇒だから誰に「させていただいて」るんだよ！
- ・心より感謝申し上げます
⇒世の中全てに感謝して生きてる系の人？

1 1 月に当会主催の「令和 6 年度研修会」を開催いたします。

こうしてしまったら、果たして失礼なのだろうか？「させていただく」でなければダメなのだろうか？

これらはたぶん、一人ひとりが気にして減らしていかなければ、「周りがそうしているから」と、思考を停止して使い続けるのだろうと思う。「小さな間違いもないように」「文句をつけられる可能性をとにかく減らす」ということを目指すのは、とても息苦しい社会に向かう道のりである。すでにそういう方向に進んできてしまっているが、ちょこっと修正することはそんなに難しいことではないと思っている。

なお、上の冗長な文章を「箇条書きで要点を書いて」とお願いするとこうなる。

研修会概要

名称: 令和 6 年度研修会

日時: 令和 6 年 12 月 15 日（日）13:00～16:00

場所: 県民福祉プラザ 3 階

内容: 加害者支援及び被害者支援に関する専門家による講演

対象: 当会の会員

参加費: 3,000 円

申込締切: 令和 6 年 11 月 30 日（土）

当然だけど、元に戻る。

表現を簡潔にするには訓練が必要。どの言葉を削るかについて時間がかかると、「めんどくさいから前と同じでいいや」となるのは非常に理解できる。

コームインの前例主義は折に触れて批判されるが、前例というものは、「これまでの人たちが検討したうえで OK を出したもの」なのである。前に OK がでたものは、そのまま通しても大体は間違いではない。それを変えるのは、結構大変なのだ。当然、変えるものべきは再検討して変えなければならないが、そうでもないものもたくさんある。変えなくてもそれほど問題にはならないものを改めて自分で考えるのはめんどくだし、上司も改めて脳のリソースを費やさなければならない。とにかく多くのタスクを処理していかなければならない状況だと、「いいから前と同じにしとけ」と言われるのも理解できるのである。

そういうときは、ちょこっとだけ変えておこう。前例が「開催させていただきます」となっているなら、「開催いたします」に直そう。たぶん、ばれない。そういうひとつの変化から始めると、だんだん修正項目が目につきやすくなる。そして、それに慣れてくると、自分が発する言葉の冗長性が減っていく。これは、いろいろな文章から必要事項を取り出す必要があるので、要約することの訓練になるのではないかと考えている。事務連絡の冗長性が少しでも減ることを、心から願う。

なんでもかんでも簡潔であれとは思わないし、すべて言語化しない表現の美しさもある。冗長さを楽しませる文章だってあるし、「無駄話」なんてものは非効率極まりないのだけれど、日々のくらしに大事なことも思う。でも、もうちょっと他者への伝え方は考えてみていいんじゃないかなと、常々思っている。

※ デリカシーの有無とかはまた別の話ですよ！